

二〇二二年五月七日

漣の途切れぬ森のミュージアム	わかば
水底に命育む蝌蚪の紐	わかば
園児らの稚鮎放流村起し	かかし
新緑へ魚板一打す僧若し	よう子
青空へ光返して若楓	わかば
屹立すセコイア並木若葉風	はく子
藤棚の下を占領ゲームの子	たか子
クローバー花冠の落とし物	はく子
街路樹の侍者のごとくに芥子の花	ぼんこ
まひまひの水輪重ねし心字池	よう子
田水張る目の輝やける老夫婦	かかし
蝶ひらひら猫の目線を翻弄す	こすもす

足生えし蝌蚪二筋の土煙
なつき

宮守のごと黒猫や著莪の花
ぼんこ

造り滝なるも豪快苑若葉
はく子

水口に泳ぎて傾ぐ余り苗
素 秀

退院日までの日数の穀雨かな
たか子

新樹光眩しセコイア並木道
はく子

青蘆の中洲は鳥のサンクチュアリ
む べ

毎週句会秀句・みのもる選・二〇二二年五月八日